MITSUBISHI

1104875HB7001

ダクト用換気扇 〔浴室・トイレ・洗面所用〕

ボディ	鋼板		
形名	VD-18ZB9	VD-20ZB9	VD-23ZB9

取扱説明書・据付説明書

お客さま用／販売店・工事店さま用

お客さま

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客さま自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用でき、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用の前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

販売店・工事店さま

本冊子は据付け後、必ずお客さまへお渡しください。

- ■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
- ■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- ■この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- ■形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名を確認してください。
  形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
- ■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- ■当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- ■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

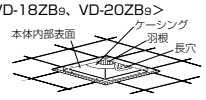
⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⚠注意 誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	警告	注意
禁止	●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。	●浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。	●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。	
接触禁止		●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
指示に従う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止するそのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 〈異常・故障例〉 • スイッチを入れても羽根が回転しない。 • 回転中に異常音や振動がする。 • 回転が遅いまたは不規則。 （モーターはメンテナンスが必要な部品です） • こげ臭いにおいがする。 • 本体据付部に腐食・破損などがある。 など ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●部品の据付けは確実に行う 落下によりけがの原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
アース確認	●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。	

2.各部のなまえ

<VD-18ZB9、VD-20ZB9>



<VD-23ZB9>

ご使用にあたってのお願い

- ●スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。
  （グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- ●高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。
  （製品の変形やモーター焼損の原因となります）
- ●換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- ●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因）

3.使用方法

運転は壁のコントロールスイッチで運転開始と停止を行います。

- ●VD-23ZB9は、コントロールスイッチで風量を「強」・「弱」に切り替えることができます。
- ●スイッチにより、ランプが点灯して運転中がわかるものがあります。
- ●VD-23ZB9ではコントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- ●冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。
  また、入浴時をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- ●入浴時以外は浴槽のフタをしてください。
  （浴室・換気扇のいたみを少なくします）

メモ
- ●給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）
- ●この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターは急激なドアの開閉や外風の強い時などにはシャッター閉じ音が聞こえる場合があります。

上手な使いかた

- ●入浴後、湯を抜くか、浴槽にフタをして3時間以上換気扇を「強」運転し、浴室を乾燥させます。
  …結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

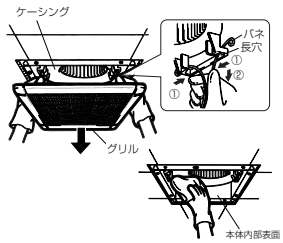
4.お手入れのしかた

グリルや羽根にほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。
約3か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い
- ●ケーシングや羽根は、はずさないでください。（振動・騒音の原因）
- ●洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。



1 グリルをはずす
- ●グリルを両手で少し下げ、バネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- ●バネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。

2 汚れを取る
- ●グリルや本体内部表面の汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- ●羽根の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

3 グリルを据付ける
- ●バネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- ●バネは本体側へ片側ずつ差し込んだ方がスムーズに据付けられます。

5.修理を依頼する前に

このような症状があれば点検してください。
- ●コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。
  （ブレーカーが切れていたり停電でありませんか？）
- ●換気量が不足する。
  （屋外フードにほこりが堆積していませんか？）
- ●運転中に異常音や振動がする。
  （グリルや本体が確実に据付けられていますか？）
- ●グリルがはずれかけている。（傾いている）
  （本体に確実に据付けてください）

点検・処置をしても直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。
費用については販売店と相談してください。

※据付場所によってはダクト配管が長くなったり、曲がり部分が多くなる場合があります。この場合、換気扇への負担が大きくなり、回転数が上がって風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

6.アフターサービス

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の取扱方法・据付方法についてのご案内 受付時間365日24時間

■ご相談対応
平日 9:00～12:00
13:00～19:00
（土・日・祝・当社休日以外）

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル
全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル
0120-726471（無料）

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666
岐阜県中津川市駒場町1番3号
FAX（0573）-66-5659（有料）
電話（0573）-66-8220（有料）

■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）

●三菱電機お客さま相談センター
フリーコール
全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）		（03）3414-9655（有料）

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）
インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX（03）3424-1115（有料）	（03）3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX（06）6454-3900（有料）	（06）6454-3901（有料）

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
モーターは消耗部品です。

7.仕 様

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

電圧100V

形名	ノッチ	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-18ZB9	—	26	29.5	320	310	31	30	4.9
VD-20ZB9	—	44	49	420	400	37	36	5.1
VD-23ZB9	強	74	82	600	570	43	42	8.3
	弱	36	38	350	330	31	29	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書の「7.仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所 2410時間／年 居室 2193時間／年 トイレ 2614時間／年 浴室 1671時間／年	

注a) 24時間換気のものは、8760時間／年とする。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（左表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて左記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅いまたは不規則。
  （モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ●こげ臭いにおいがする。
- ●本体据付部に腐食、破損などがある。

▶ 使用中止
故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形名	
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名（住所）（電話番号）	（ ）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。

据付説明書

1. 据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」（表面）、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

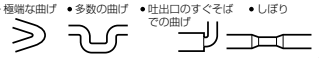
2. 据付け前のお願い

据付け

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では製品寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 同梱されているダクト接続口を使用してください。風量低下や異常音発生の原因となります。
- 製品据付位置はグリル側面と部屋の壁面を150㎜以上き間を開けてください。グリルの取りはずしがやりにくい原因となります。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。

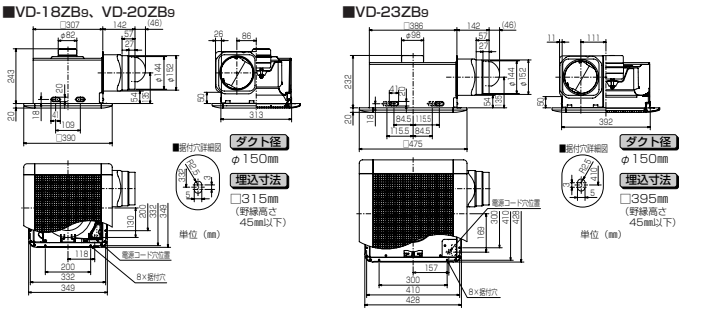


据付場所

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に据付けてください。

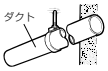
3. 外形寸法図

【付属部品】木ネジ（ステンレス製）…9本



4. 据付方法

1 ダクト工事

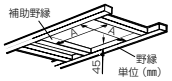


壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

2 野縁組立

（天吊金具を使用する場合は**天吊金具を使用する場合**を参照）



図のように天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。

- ダクト接続口を据付ける野縁は45㎜以下にする。

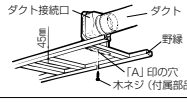
単位（㎜）

形　名	A寸法
VD-18ZB9 VD-20ZB9	315
VD-23ZB9	395

メモ

- 野縁高さを45㎜以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります。

3 ダクト接続

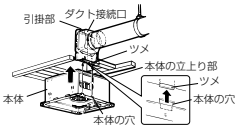


ダクト接続口の固定

- ダクト接続口をダクトに差し込み野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮固定する。（「A」印の穴を使用）
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向7°）

4 本体の据付け

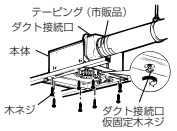
1



本体の差し込み

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。

2



本体の固定

（1）本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ8本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。（すき間があると風漏れの原因となります）

（2）ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締め付ける。

（3）風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

メモ

- 浴室などへの設置で、据付穴から天井裏に湿気が漏れるおそれのある場合には、テーピングやコーキングなどにより据付穴を塞いでください。

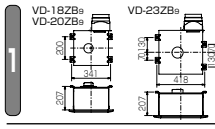
お願い

- ダクト接続をネジで行う場合は**ネジでダクトを接続する場合**を参照してください。

5 電気工事 へつづく

天吊金具を使用する場合

1



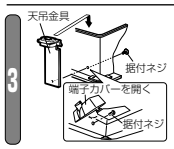
野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して据付ける方法も兼用してください。
左図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。（対角位置の2カ所）

2

ダクト接続口が同梱されていますので下記作業を始める前に本体に据付けてください。

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

3



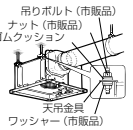
天吊金具 P-08TK（システム部材）を据付ける。

- 天吊金具を本体に引掛けて内側より据付ネジで固定する。

お願い

- VD-18ZB9・20ZB9は端子カバーを開いた状態で据付ネジで固定してください。

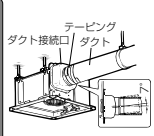
4



本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに据付ける。

- ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。

5



ダクト接続口とダクトを接続する。

- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向7°）
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでテーピングする。

お願い

- ダクト接続をネジで行う場合は**ネジでダクトを接続する場合**を参照してください。

5 電気工事 へつづく

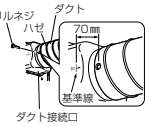
ネジでダクトを接続する場合

ネジによる接続

（1）図のように矢印から水平に70㎜の位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70㎜の位置にくる場合は、矢印から水平に60㎜の位置に固定する。

- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。

（2）風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



ダクト呼び径　φ150の場合	
ダクト外径（㎜）	ネジ　呼び長さ
150（スパイラルなど）	10
155～160	13
165（VP管など）	19

5 電気工事

■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

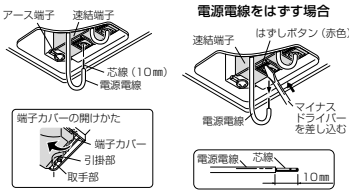
⚠注意　結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

メモ

- コントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

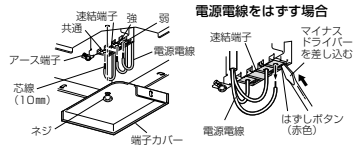
■VD-18ZB9，20ZB9の結線方法

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（結線図参照）
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。
4. 端子カバーを「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

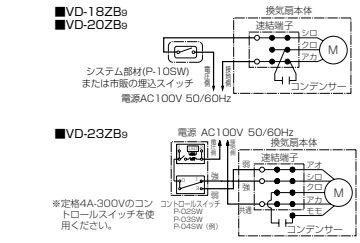


■VD-23ZB9の結線方法

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
2. 端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーをあけ、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（結線図参照）
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。
4. 端子カバーをネジ1本で固定し元通り取付ける。



■結線図（太線部分を結線する）



■電圧チェック表

線間電圧（V）

スイッチ　測定部	共通－強	共通－弱
切	0	0
入－強	100	0
入－弱	0	100

- 結線する前に線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。

充電部に接触しないよう十分注意してください。

お願い

- 電源電線の外皮は70㎜以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは10㎜皮むきしてください。本体内部の皮むき寸法図に合わせて、皮むきしますと便利です。（10㎜を超えてむくと漏電の原因となります）
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は接続部に力が加わらないよう本体付近で約150㎜たるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25㎟をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください）
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）を押しながら電源電線を引いてはすしてください。

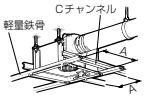
- 本体を野縁に据付けてる場合は

6 天井材を張る へつづく

- 本体を天吊金具を使用して据付けている場合は**軽量鉄骨に据付けている場合**へつづく

軽量鉄骨に据付ける場合

1. 軽量鉄骨を組む



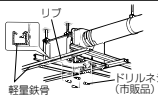
単位（㎜）

形　名	A寸法
VD-18ZB9・20ZB9	315
VD-23ZB9	395

軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで内寸がA寸法になるよう据付枠を組む。

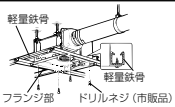
2. 本体を固定する（メンテナンスができるよう固定）

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合



本体内部のリブ（4カ所）を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。

軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合

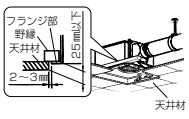


本体フランジ部の据付穴を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。

6 天井材を張る へつづく

6 天井材を張る

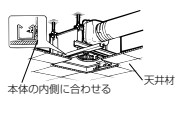
本体を野縁に据付ける場合



（1）天井材を張る。

（2）本体のフランジ部分と天井材とは必ず2～3㎜のすき間があくよう角穴をあける。

本体を軽量鉄骨に据付ける場合



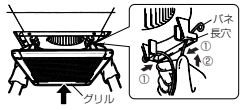
（1）天井材を張る。

（2）本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。

お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。（すき間がありますと風漏れの原因となります）
- 天井材の厚さは25㎜以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

7 グリルの据付け



（1）グリルのバネを指先で縮め長穴に差し込む。（片側ずつの方が楽に作業ができます）

（2）手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

5. 試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原　因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部／電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する。
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く